

【復興支援道路】 一般国道397号小谷木橋について

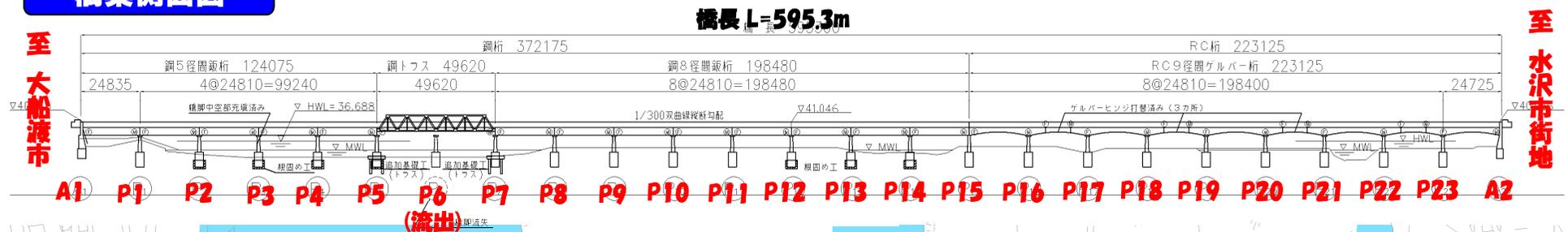
岩手県
県南広域振興局土木部

一般国道397号小谷木橋

1

- 東北新幹線水沢江刺駅、鋳物工場などがある羽田地区と奥州市の中心部を結ぶ重要な橋です
- 橋の長さ：L=595.3m〔昭和29年架橋〕（歩道：L=598.7m）
- 橋の幅：W=8.0m〔車道：6.0m、歩道：2.0m〕

橋梁側面図



橋梁平面図



現在の小谷木橋



【幅が狭い】

- 橋の幅が狭く 大型車のすれ違いが大変です

【橋が古い】

- 現在の 小谷木橋が架けられてから62年もたち、こわれているところも出てきています

幅が狭い



せまくて車が走るのが大変



橋が古い



橋のさびつき



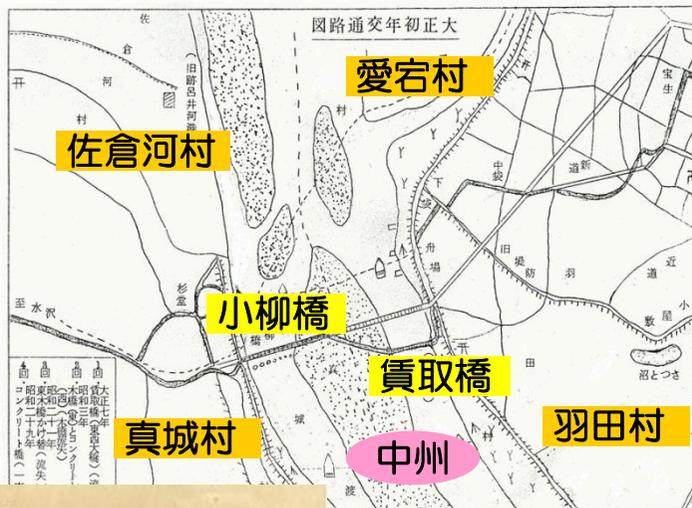
【初代小谷木橋（大正7年）】

- 橋がかけられる前は、北上川を渡し舟で行き来していました
- 大正7年に小柳橋と賃取橋の2つの橋ができました(賃取橋を通るのにはお金が必要でした)

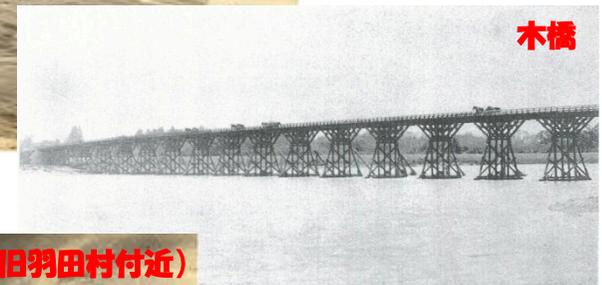
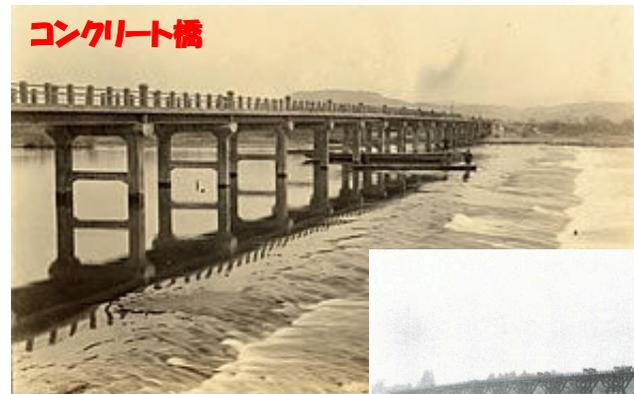
【2代目小谷木橋（昭和3年）】

- 昭和3年にコンクリート橋と木橋でかけかえられました
- 昭和22年、昭和23年のカスリーン・アイオン台風（一関市を中心に死者5百余人、流出家屋約600戸）で2代目小谷木橋が流されました

初代小谷木橋（大正7年）



2代目小谷木橋（昭和3年）



小谷木橋の歴史②

【3代目小谷木橋（昭和29年）】

- 現在の小谷木橋（L=595.3m）が完成しました（当時は東北一長い橋でした）
- 昭和53年に歩道橋ができました

3代目小谷木橋（昭和29年）

3代目小谷木橋
工事状況



3代目小谷木橋開通当時の新聞記事
(昭和29年6月16日：胆江日日新聞)



地方民にドツと歓聲 小谷木橋さようから開通

五年ぶり感激の渡り初め

★ 水沢と湯田を結ぶ小谷木橋流失で交通を断たれてこゝに五年目、その間渡船賑わいと
★ で十数人の犠牲者を出したがこの集橋も四年間の工事漸く完成しよいよさようから
★ 開通まつて地方にドツと歓聲があつた。
★ 新設の小谷木橋は北「川本支」長さ五九五・三〇有効巾五五・五〇メートル（網敷けた橋）一五〇間三七・七〇
★ 流中流とまた下流下流の橋で「五〇」プレートガーター（よき接）〇五、鉄筋コンクリートガルバ

橋九線四三三・三三・五、ピーア
上三柱、橋白一、橋間はア
スファルトの築たるもので、
架設工事は予算一億四千四百七
十萬五千元を以て廿五年に工事
が着手されて以来必し廿五年
目期として水沢市開業の喜
び合いと同時にゆん工の運
で落成式は盛り山を賑わす事
計画の一大催しとして諸準備計
画が進められてはいる。
この橋のゆん工検査は去る十
日から県土木部道路部市原課
技師ほかの来所に吉田土木所長
等によつて行われたが橋は十
六日さようから入局、自動車、
廿日からは一般の通行（自動車、
バ）が開通されることに決定
し唯一の交通機関であつた渡船
はさのちで名残りを止めた。

小谷木橋に一KW 投光器

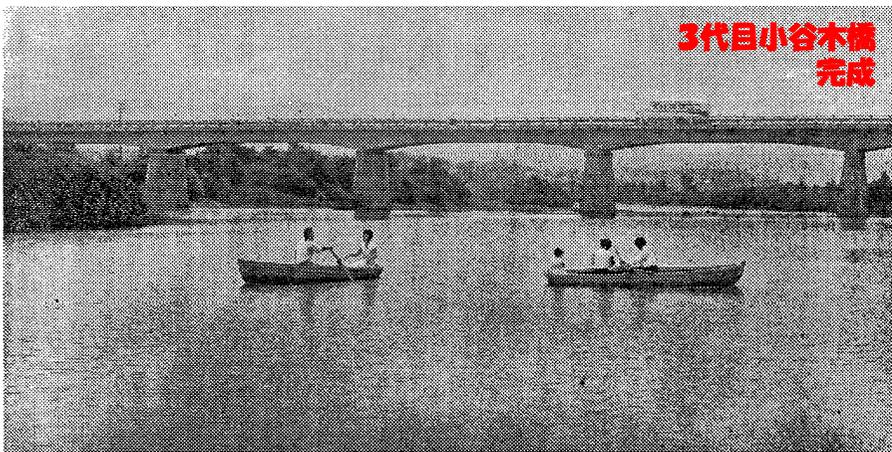
パツと明るくなる街路

(別項)小谷木橋工事完成
柱が約設置される予定であるがこ
きよから開通されるがこの長
橋の夜間交通の安全を期するた
め工費二十余万円を投じて投光器
備せ行つたことになつた。
この投光器は橋の両端に一キ
ロワの投光器を設置し夜間の
場合はその方向に転換出来る仕
組となつてゐる。また外灯とし
て橋から清水町まで五本の電
柱が設置される予定であるがこ
れが完成は七月四日の落成記念
日までには設置される。

水沢競馬 馬体検査

県営第一回水沢競馬出場馬の能
力馬体検査は二十九日馬検場と
競馬場で行つた。

3代目小谷木橋
完成



【集中豪雨（昭和63年）】

- 集中豪雨による洪水で羽田側から6番目の橋脚がこわれたので違う形の橋に直しました

【宮城県沖を震源とした地震（平成15年）】

- 橋のつなぎ目の部分が大きくこわれました

集中豪雨（S63）



一部ポニーラス橋
にかけかえました



【東日本大震災津波の余震（平成23年4月7日）】
• 地震で橋が傾いて、ひび割れや段差ができて車が通れなくなりました
⇒約4ヶ月の通行止め、他の橋に車が集中して渋滞が発生しました



小谷木橋通行止めに伴い
他の橋に迂回が必要
交通が集中し渋滞が発生



- 平成23年3月11日14時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の平成23年東北地方太平洋沖地震（東日本大震災津波）が発生しました（1900年以降に世界で発生した地震の中でも4番目の規模）
- 被害状況(岩手県)：死者5,132人、行方不明者1,124人、住家被害26,168棟(全壊・半壊)

宮古市



釜石市



三陸復興道路整備事業

・三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く**信頼性の高い道路ネットワークを構築**

事業主体

国、県

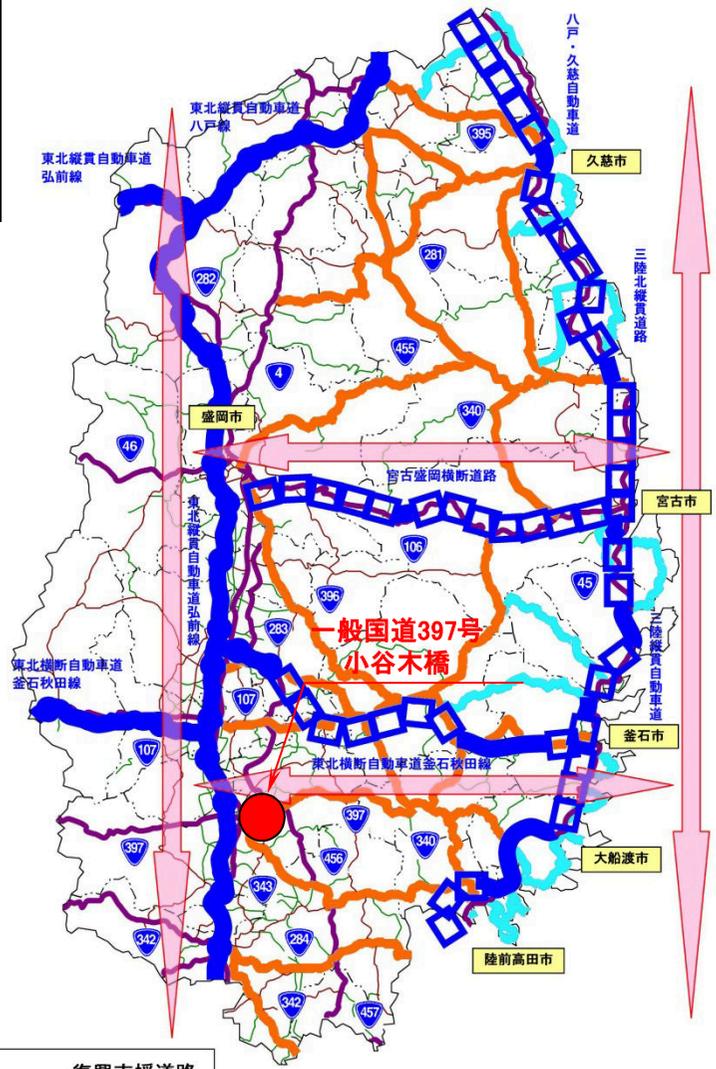
事業概要

- (1) 復興道路
三陸沿岸地域の縦貫軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格幹線道路等の整備を促進
〔三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路（国道106号） など〕
- (2) 復興支援道路
内陸部から三陸沿岸各都市にアクセスする道路及び横断軸間を南北に連絡する道路、インターチェンジにアクセスする道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進
〔国道107号、国道397号 など〕
- (3) 復興関連道路
三陸沿岸地域の防災拠点（役場、消防等）や医療拠点（二次・三次救急医療施設）へアクセスする道路及び水産業の復興を支援する道路について、交通隘路の解消や防災 対策、橋梁耐震化等を推進
〔（主）重茂半島線 など〕

実施期間

平成23年度 ～ 平成30年度

三陸復興道路整備事業ネットワーク図



復興道路	復興支援道路
■ : 供用済区間	■ : 供用済区間
□□□ : 未供用区間	■ : 復興関連道路

小谷木橋工区の事業計画①～計画概要～

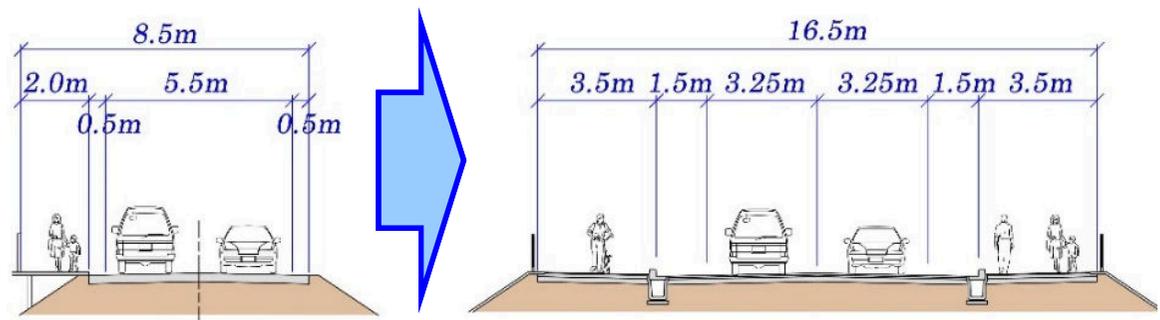
事業概要図



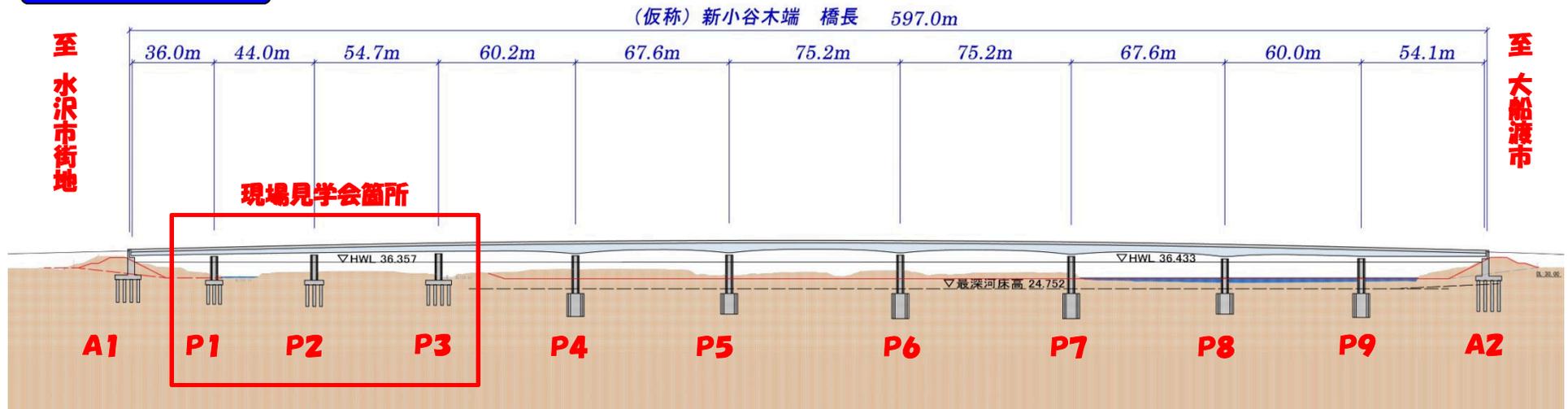
計画概要

計画延長		1,420m
計画幅員	一般部	6.5(16.5)m
	橋梁部	6.5(15.0)m
道路の区分		第3種第2級
設計速度		60km/h
事業期間		H24 - 36
全体事業費		8,460百万円

標準断面図(一般部)



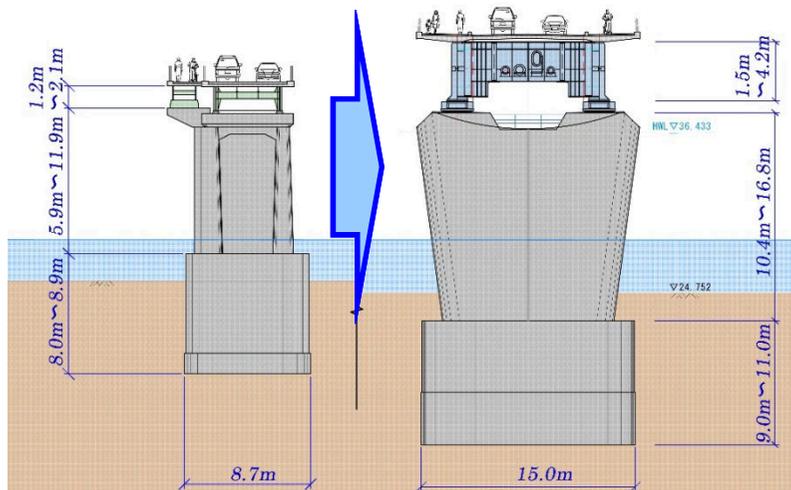
橋梁側面図



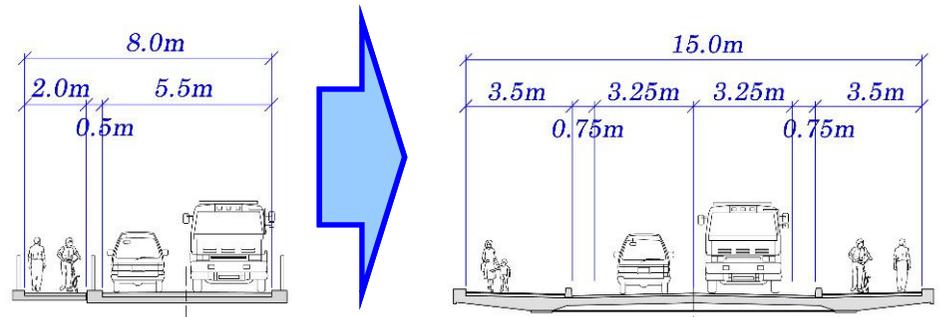
橋梁計画

名称	構造	
(仮称) 新小谷木橋	延長 (m)	597.0
	上部工	鋼10径間連続 合成2主鋼桁
	下部工	逆T式橋台 (杭基礎) 壁式橋脚 (杭基礎、ケーソン基礎)

橋梁断面図



標準断面図(橋梁部)



【橋上バルコニー】

- 橋の上に 4箇所のバルコニーを設置します（上下流各2箇所）
- ベンチを設置して 休憩や展望の空間として利用できます

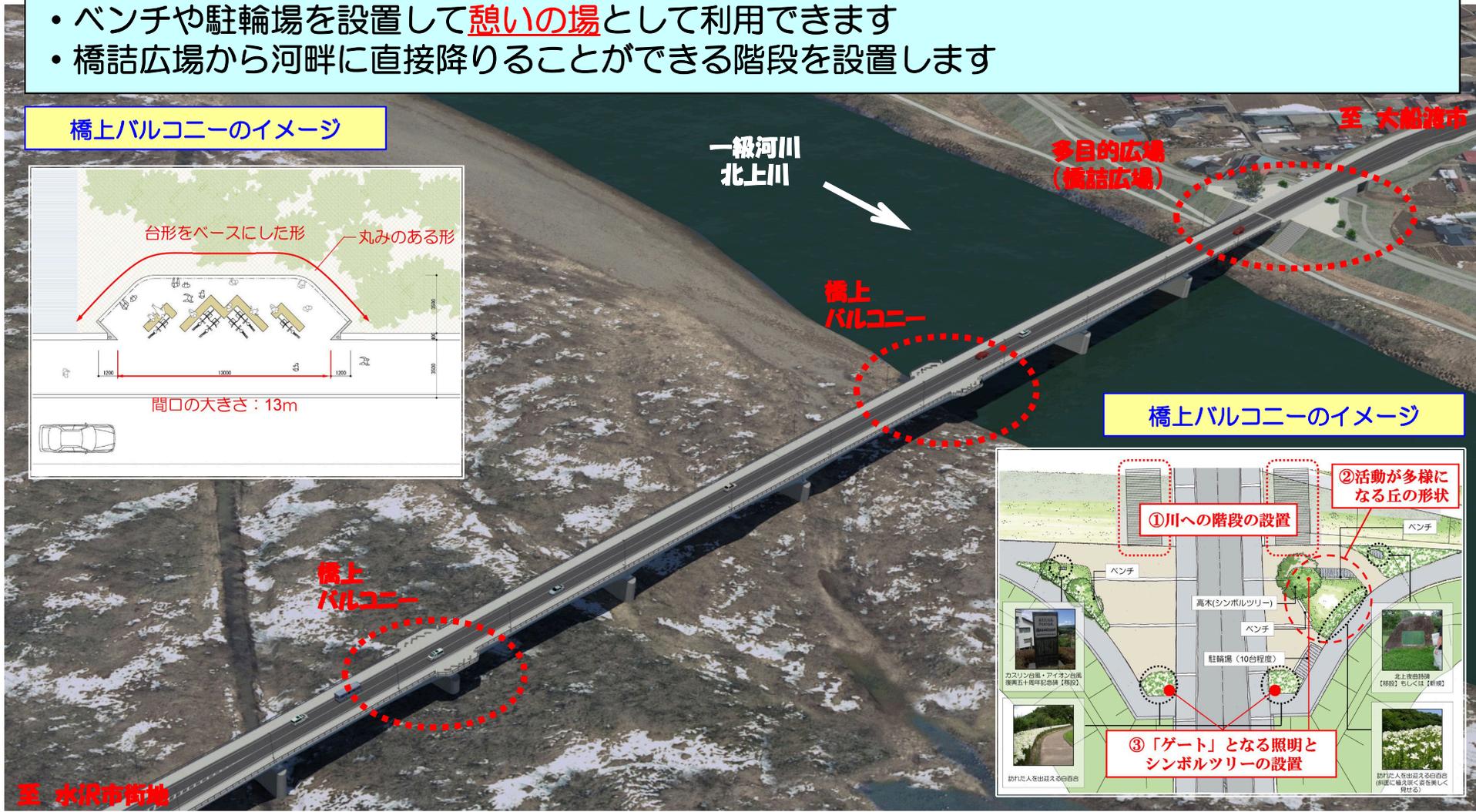
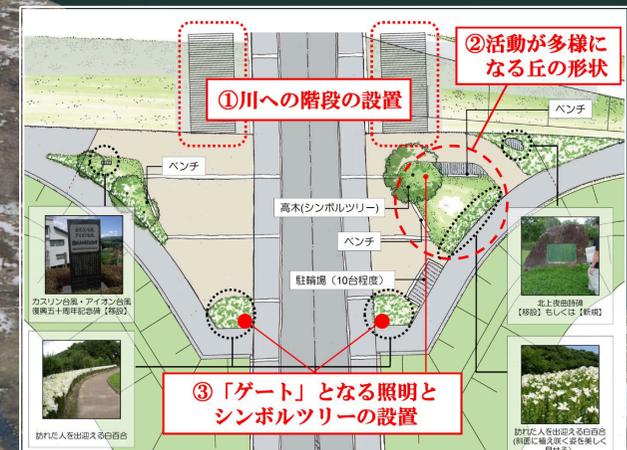
【橋詰広場】

- 北上川の左岸側（羽田町側）に 多目的広場（橋詰広場）を設置します
- ベンチや駐輪場を設置して 憩いの場として利用できます
- 橋詰広場から河畔に直接降りることができる階段を設置します

橋上バルコニーのイメージ

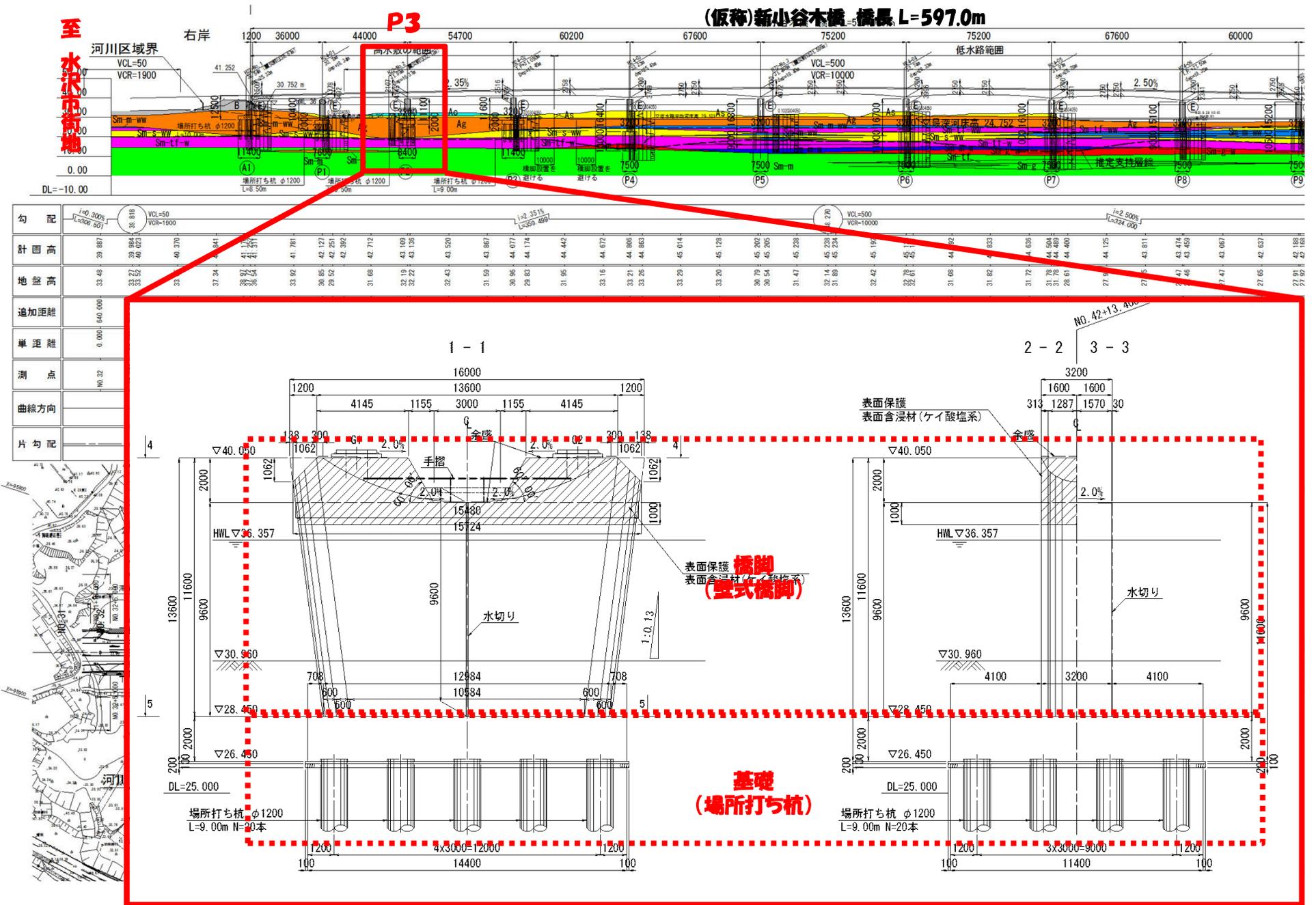


橋上バルコニーのイメージ





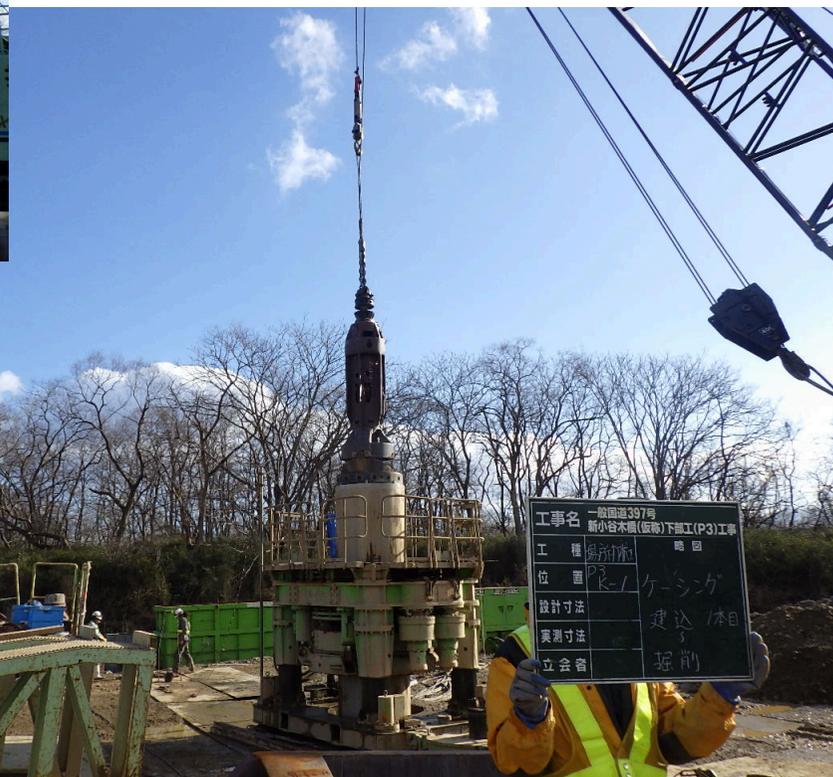
(仮称)新小谷木橋の工事状況②～橋脚の構造～





ケーシング建込み

掘削

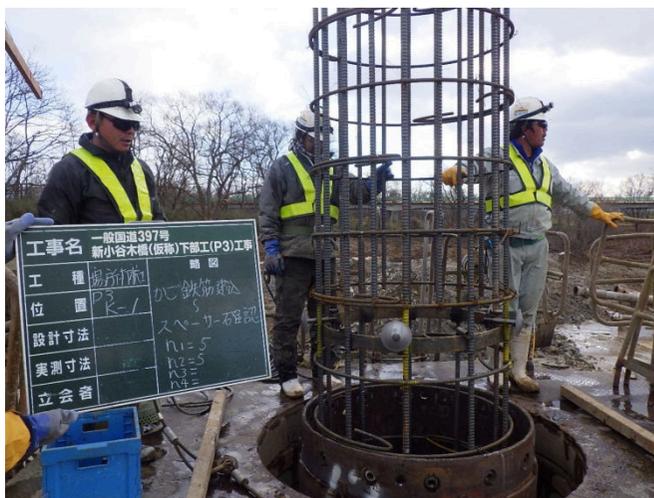


工事名	一般国道397号 新小谷木橋(仮称)下部I(P3)工事	時日
工種	橋脚	
位置	P3	
設計寸法	R-1ケーシング	
実測寸法	建込	本目
立会者	掘削	



ケーシング内部(掘削後)

鉄筋建込



工事名	一般国道397号 新小谷木橋(仮称)下工(P3)工事
工種	場所打ち杭
位置	P2-1
設計寸法	スベーク-石巻
実測寸法	N1=5 N2=5 N3=5 N4=
立会者	

工事名	一般国道397号 新小谷木橋(仮称)下工(P3)工事
工種	場所打ち杭
位置	E-20
設計寸法	力:鉄筋建込
実測寸法	杭径
立会者	



トレミー管建込み

コンクリート打設



工事名 一般国道397号
新小谷木橋(仮称)下層工(P3)工事

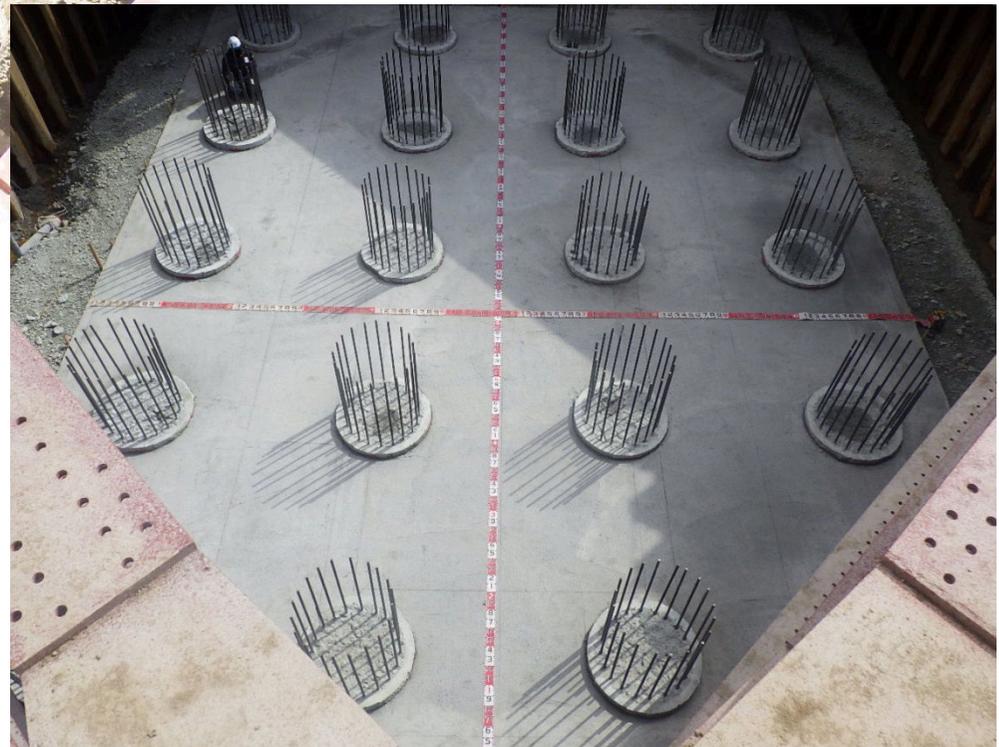
工事名 一般国道397号
新小谷木橋(仮称)下層工(P3)工事
工 種 基礎工事
区 画 P-16 本橋下層
設計図書 水災
標準寸法 水災
公表欄



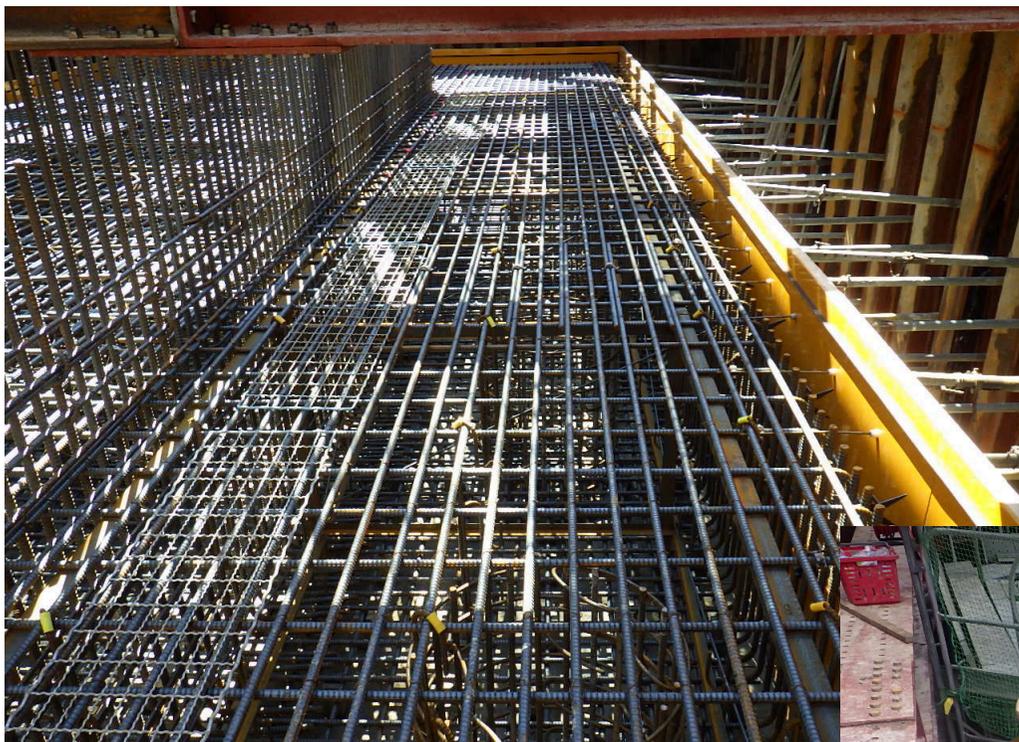
場所打ち杭打設後



杭頭処理



杭頭処理後



配筋

コンクリート打設



区分 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30~
調査設計	[Blue arrow from H26 to H28]				
用地補償	[Blue arrow from H26 to H28]				
埋蔵文化財調査			[Blue arrow in H28]		
道路改良舗装			[Blue arrow from H28 to H30~]		
新小谷木橋(下部工)		[Blue arrow from H27 to H28]			
新小谷木橋(上部工)				[Blue arrow from H29 to H30~]	

H27.11.19
安全祈願祭



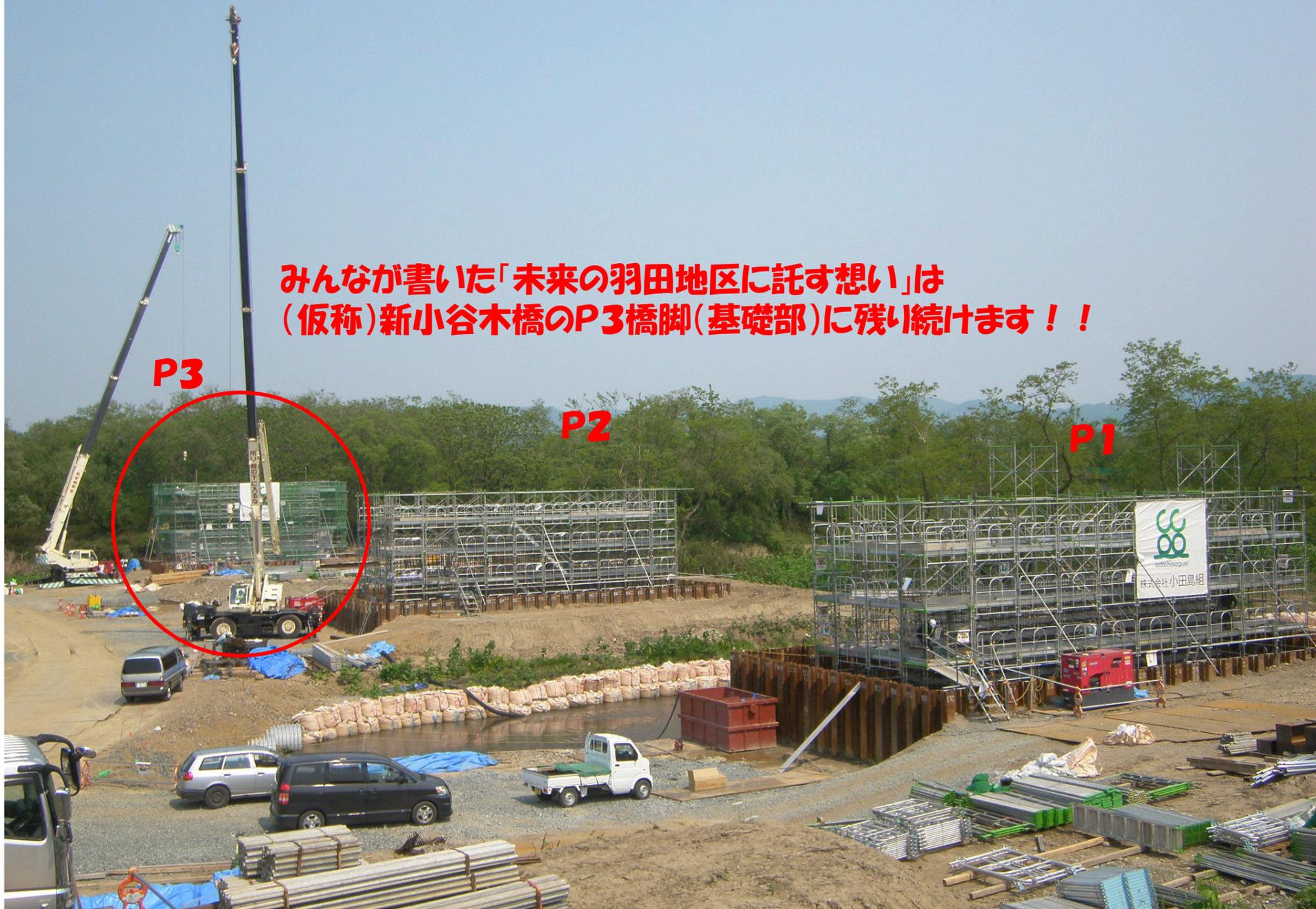
「未来の羽田地区に託す思い」を(仮称)新小谷木橋に残そう！！

みんなが書いた「未来の羽田地区に託す思い」は
(仮称)新小谷木橋のP3橋脚(基礎部)に残り続けます！！

P3

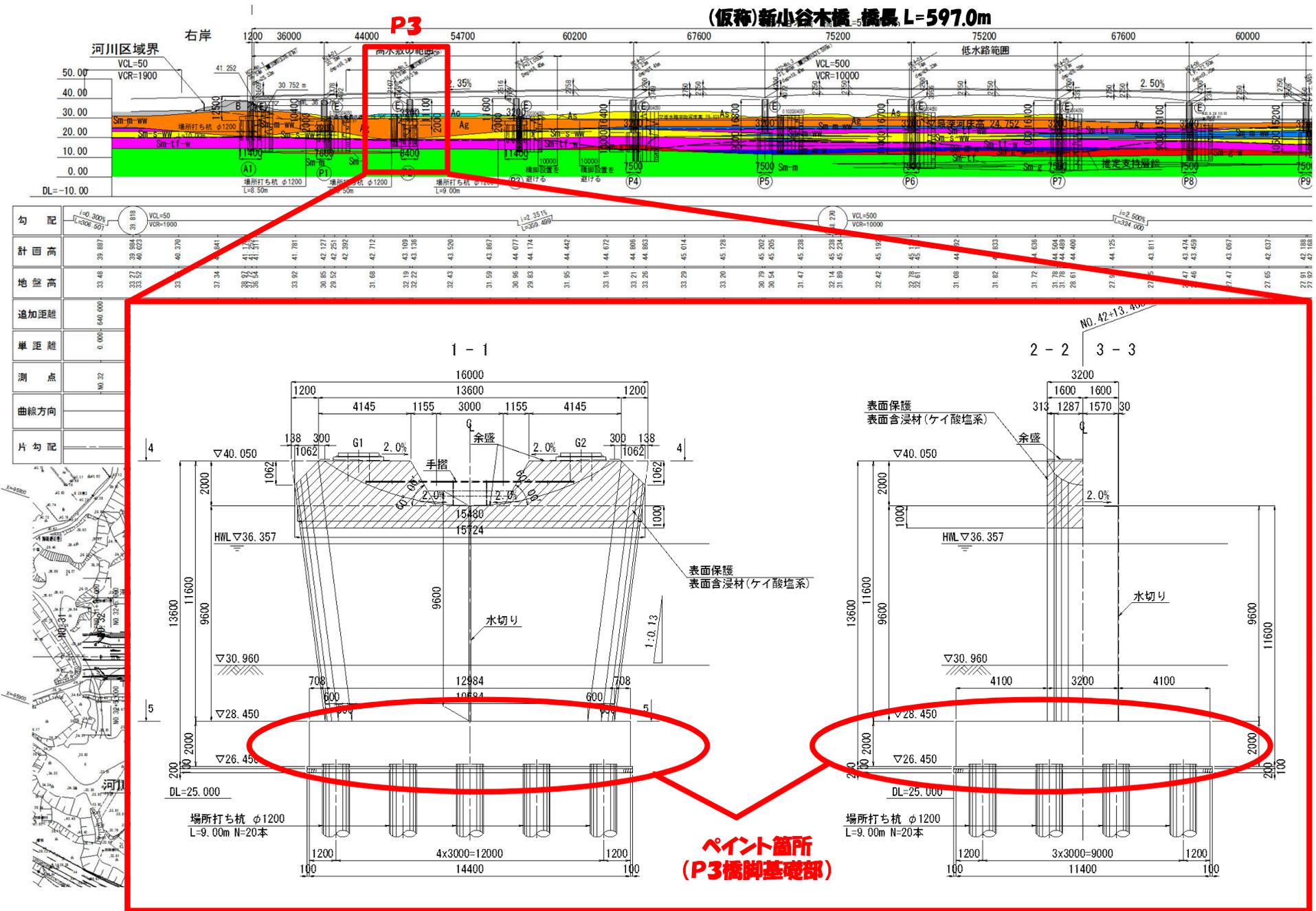
P2

P1



「未来の羽田地区に託す想い」を(仮称)新小谷木橋に残そう！！

(仮称)新小谷木橋 橋長 L=597.0m



**ペイント箇所
(P3橋脚基礎部)**

世界遺産平泉PRキャラクター「ケロ平(ひら)」

- 平和を願い、万物との共生を理想とする「平泉」の理念を現代人に伝えるため、平泉の柳之御所遺跡から800年の時を越えて発見された「平泉のカエル戯画（ぎが）」から飛び出して来たキャラクター



平泉のカエル戯画



出生	柳之御所遺跡から出土した木片（折敷（おしき））
誕生日	6月29日（平泉世界遺産の日）
生まれ	平安時代後期
性格	明るい、のんびり
好きな場所	浄土庭園（池）
好きなもの	どぶろく
苦手なこと	争いごと
行きたいところ	世界中の世界遺産
特技	相撲
チャームポイント	ぽっこりしたお腹
友達	きよひらくん（平泉町）